

新
型
コロナ

ワクチン接種円滑化に全力。東京の未来を切り拓く

かんの弘一 プロフィール

- ◎昭和33年 港区生まれの港区育ち。港区立 白金小学校、高松中学校を卒業、本郷高校に進学し日本大学法学部卒業。港区議会議員 初当選 以降4回連続当選、14年務める
- ◎平成11年 まちづくり、子育て等対策特別委員会 委員長、議会運営委員会 委員長などを歴任 白金台どんぐり児童遊園の開設や指定有形文化財 旧協働会館の保存にとりくむ 港区議会議員
- ◎平成23年 東京都議会議員 初当選、現在2期目
- ◎平成25年 経済・港湾委員会 副委員長、豊洲市場移転問題特別委員会 委員
- ◎平成28年 科学と正しい情報に基づき予算特別委員会などで正論を主張 総務委員会 委員長
- ◎平成29年 東京都の災害対策や人権問題などにとりくむ 文教委員会 副委員長 待機児童の問題、教職員の働き方改革などにとりくむ
- ◎平成30年 新型コロナウイルス感染拡大下の経済政策の最前線 経済・港湾委員会 副委員長。
- ◎現在 議会運営委員、会派 幹事長代行として議会運営の一翼を担う。



地域と国・都を強く結ぶ。

新型コロナウイルス感染症の拡大から一年半が過ぎ、度重なる補正予算の編成でコロナ禍前は潤沢であった都財政もいまや大変厳しい状況となっています。今後更なる経済対策、感染拡大防止対策を行うためには、いかに自治体が国と連携を密にし、財源を確保していくかがカギとなります。

港区において、国と都と区で縦断的な対策にあたれる唯一の政党として、その責任の重さを自覚し、たとえひとつひとつの効果は小さくとも、目の前の課題解決を着実に積み上げて、この未曾有の危機の一日も早い収束を目指します。

2期8年間で700超 議会・委員会 で積極的に発言

都政の最前線で働く。

LIBERAL&DEMOCRATIC
自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581) 6211(代表)

自由民主党ホームページ
<http://www.jimin.jp/>

<毎週火曜日発行>



かんの弘一さんは「都政の最前線で働く」と決意を語っています。

港区自民党は昨年
武井港区長と政策協定を締結。
港区から強い東京をつくります！

東京都議会議員

かんの弘一さん

コロナ経済対策の要
経済・港湾委員会 副委員長

もういちど

「まちを元気にしよう。」

私が区議会に初めて挑戦した平成11年、長引く不景気と止まらない人口減少で港区は自信と元気を失っていました。

かつての笑顔と元気に満ち溢れていた港区を取り戻したい。その一心で「まちを元気にしよう」というスローガンを掲げ、若い世代が安心して子供を産み、育てられるまちを目指して働いてまいりました。

あれから22年がすぎ、今では港区の人口は増加に転じ、こどもたちの楽しそうな声がまちに戻ってきました。

しかし、今また新型コロナウイルス感染症がまちの人々から笑顔や元気を奪おうとしています。皆さんから毎日届くご意見やご相談は日に日に深刻さを増すばかりです。

4年前の豊洲市場移転問題の時に続き、私が所属する経済・港湾委員会が再び都政の「最前線」になりました。もう一度初心にたしかえり「まちを元気に」するために、あの時同様、難題にひるまず、ポピュリズムに逃げず、東京の未来に対して責任をもって、前向きな議論を進めることをお約束いたします。

弘一さんと一緒に
私たちも 全力でとりくみます！



(港区自民党議員団)



衆議院議員1区
山田みき



衆議院議員2区
辻清人



東京都議会議員 かの弘一さんの主な取り組みと実績

まちのみんなと

「どんぐり公園」を開設

港区議会時代、地域の皆さんと署名活動から港区を動かし、公務員住宅跡地を児童遊園として整備することが決定。当時斬新だったワークショップで公園のコンセプトから配置図、設備の選択を決めていく地域参加型のプロセスで、「白金台どんぐり児童遊園」ができました。この経験から「まちの皆さんといっしょに前向きに進める」ことが私の信条となりました。



転落事故から障がい者を守る

浅草線のホームドアを整備

三田にある障害福祉会館に通う方からの相談を受け、安心・安全な地下鉄のホームドア設置に取り組み、多くの乗り入れ路線があるため設置が遅れていた都営浅草線のホームドア設置が進みました。汎用性とコストの面で優れたQRコードを利用した新システムで、もっと安心・安全な地下鉄整備を進めます。



現場の不安を即改善

万一の感染爆発の経路をふさぐ

昨年4月、東京都葬祭業協同組合から、新型コロナウイルスで亡くなる方が多数出た場合、感染症用の遺体安置設備をもつ中小病院が少ないこと、ご遺体を収容する納体袋や防護服のストックが十分でないことから不安があるとの相談がありました。所管局に交渉し、すぐに配備が実現。外国では遺体から感染拡大との報道もあったため速やかに改善を行いました。

青山公園の運動広場閉鎖期間を短縮 ボール遊びができる場所を増やす

東京2020大会期間の運動広場閉鎖について利用者や親御さんから相談を受け、都に対し働きかけを行い、約2か月の閉鎖期間短縮を実現。今後は市街地再開発制度等を活用し、従来の保育所や防災機能に加えスポーツや子供の遊び場を公開空地につくるなど、都心でもボール遊びができるまちを目指します。



港区の財政負担をゼロに 工事期間の保育園用地確保をサポート

港区議会議員からの相談を受け、区が台場コミュニティが改修期間中の台場保育園移転用地として、お台場レインボー公園を都から借り上げるに際し、都と区の間で立つて橋渡しを行い結果、区の財政負担をゼロにすることができました。都と区の間で認識のズレが起こることはよくありますが都議・区議が連携しこのズレを正すのも重要な仕事です。

都立新国際高校(仮)の開設 港区と連携した国際教育を！

かつて白金二丁目にあった東京都職員白金住宅跡地が都立新国際高校(仮)として再整備されることが決まり計画が進んでいます。港区立の小・中学校では早くから国際化教育を進めてきましたが、港区における取り組みと都立新国際高校の連携をめざして、東京都に提案を続けています。



環状四号線(白金台―高輪台)区間 一部計画変更を実現

地域住民からの相談を受け都に交渉、勾配のある橋梁のような道路計画を現状の高低差にできるだけ沿った形の計画に変更。今後も住民憩いの場、猿町公園をどうするかなど課題は山積していますが、地域の「こんなまちにしたい」という要望にひとつひとつ耳を傾け、建設的に行政を動かしていきます。

まちの未来に責任をもって
みんなといっしょに「前」へ進めます。

かの弘一さんの信条

プロの視点で問題を見極め、
前向きな議論でより良い結果を目指す！
まちの意見を行政につなぎ、動かす！
今はもちろん未来にも責任をもって進める！



港区指定有形文化財
旧協働会館の保存・整備
現 伝統文化交流館 採択時の委員長



甚大化する災害
防潮堤・水門の整備が進みました
芝浦・港南など臨海部を水害から守る



都市型水害への備えが急務
新橋などの地下街の水害対策推進
東京の弱点 大規模地下街を水害から守る



土砂災害から いのちを守る
三田一丁目がけ地の問題を解決
周囲の開発とあわせて、がけ地の整備が決定



不動産の専門家の立場から
都心での保育所用地の確保を推進
区議会時代からとりくむ課題
助成期間の延長、補助金上限の引き上げ実現



夜間の見過ごしやすい入り口をわかりやすく
北里研究所の看板設置
夜間緊急の車が通りすぎないように対策



まちの交流を豊かにするスペース
芝のはらっぱ開設に協力
町会のご相談を受け東京都を動かす



区民からの声を形に
公衆トイレの洋式化促進
芝公園など都立公園・公共施設のトイレを整備



都宅建協会港区支部と連携
商店街の防犯カメラ設置を促進
白金北里通り商店会をはじめ、区内がより安全に



一人歩きが不安な暗い道を改善
水再生センターに夜間照明設置
周囲のわかりにくい歩道の問題も解決

かの弘一 事務所

〒108-0071 港区白金台3-17-4
☎03-3445-8211 FAX03-3445-5155
<http://www.kanno-ko.com>